

「実習」	教科	工業	単位数	6単位
	学科、学年、組		自動車科、3学年、3組	
使用教科書	「機械実習123」(実教出版株式会社) 「最新版 自動車用語辞典」(精文館)			
副教材等	「三級自動車ガソリン」「三級自動車シャシ」「三級自動車ディーゼル」「法令教材」(日整連) 自作プリント			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	(1)工業の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)工業の各分野の技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。 (3)工業の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容		観定の割合	評価方法
知識・技能	各テーマにおいて、これから「何を学ぶのか」が明確に理解できているか。 問題解決の能力を身に付けているか。	30%	・定期考査
思考・判断 ・表現	実習を通して工業の本質の理解に役立つ各専門分野の 基礎的、基本的な技術を含んだ総合的な題材を、一層 効果的に進めているか。	35%	・実技テスト ・レポート内容 ・実習に取り組む姿勢態度等
主体的に学習に取り組む態度	学習の目標をしっかりと把握し、身体を総合的に働か しながら学習活動を積極的に取り組んでいるか。	35%	・実技テスト ・レポート内容 ・実習に取り組む姿勢態度等

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	・車両試験:前照灯試験、サイドスリップ、ホイールバランス、音量 ・試運転試験:試運転の意義と心構え、発進、停止、後退、変速 ハンドル操作 ・電装装置:スタータモータ・オルタネータの分解組み立て ・ジーゼル実習:ジーゼルエンジンの概要、インジェクションポンプの 分解・組付、噴射装置、性能試験	・立体図を第三角法で作図することにより、製図規則、規格表の見方を使って復習し理解する。 ・製図規則を復習し、製図検定1次試験が合格できる程度まで理解する。
2	・特殊機構:オートマチックトランスミッションの概要、分解、組付け ・電装実習: スタータ、オルタネータ、ベンチテスト、トランジスタ・コンピュータ点火装置の点検整備、コンピュータ制御エンジンの点検整備、故障探求・スキャンツールの応用 ・ジーゼルエンジン: ガバナ機構と機能、噴射装置の種類と特徴、ガソリンエンジンとの比較、排気ガス濃度試験 ・車両試験:車両走行性能試験、高速ブレーキテスト、低速ブレーキテスト、前輪整列テスト	・自動車の各部品の名称とその働きを理解する。 ・整備・調整を体験し正しく作業できているか。 ・実習に対する取り組み姿勢や丁寧な言葉遣いや工具・部品等の整備や管理が正しくできる。 ・実習結果を理論値と比較しながら考察し、正しい判断ができる。 ・レポートや定期考査の結果から十分実習内容が把握できている。
3	・動力試験:動力計の原理、動力測定、性能線図作成 ・特殊機構:ATの性能点検、各種点火装置、パワーステアリング機構 ・電装実習:トランジスタ点火装置、IIA分解点検、エンジン調整等 ・総合実習:各種点検、ホイールアライメント、エンジンスコープによる点検等	・自動車の各部品の名称とその働きを理解する。 ・整備・調整を体験し正しく作業できているか。 ・実習に対する取り組み姿勢や丁寧な言葉遣いや工具・部品等の整備や管理が正しくできる。 ・実習結果を理論値と比較しながら考察し、正しい判断ができる。 ・レポートや定期考査の結果から十分実習内容が把握できている。